

(作成記入例)

【様式1】

受付番号

平成26年度 オキナワものづくりネットワーク構築事業

提案書

応募申請書

平成26年 月 日

株式会社 沖縄TLO  
代表取締役社長 玉城 理 殿

中核企業名  
代表者役職名  
代表者氏名

印

平成26年度 オキナワものづくりネットワーク構築事業について、以下のとおり関係書類を添えて提案いたします。

技術開発テーマ名	△△△を実現するための、□□□技術の開発 ※(様式1-別紙)参照			
中核企業名	(フリガナ)			
	企業名			
	住所	〒		
	(フリガナ)			
	プロジェクトリーダー 職・氏名			
	電話		F A X	
	E-mail			
他制度への 応募状況	<p>&lt;記入方法&gt; (青字は削除して記入してください)</p> <p>※ 技術開発共同体参画機関が、他制度で継続中若しくは応募中(応募予定も含む)の技術開発プロジェクトについて、その研究助成制度名、技術開発テーマ名、関係省庁等名、技術開発期間、研究資金の額、本提案との相違点を記入してください。</p> <p>※ なお、ここでいう他制度とは、総務省、文部科学省、厚生労働省、農林水産省、経済産業省、国土交通省やそれらの外郭機関(JST、NEDO等)、または沖縄県が実施している公募型の技術開発助成制度が対象となります。</p> <p>※ 万が一正しい報告が行われなかった場合や記載漏れが判明した場合は、審査において不利になることがありますのでご注意ください。</p>			

## (作成記入例)

(様式1－別紙)

### 技術開発テーマ名について

本事業では、県内において実需のある装置開発の実施とあわせて、その開発過程において検証することになる要素技術が企業において将来的に応用可能な技術（競争力の強化）であることを明らかにするために、以下の内容でテーマ名を設定してください。

また、サポーター関連技術（※1）の導入においても、導入する技術の活用先もしくは克服すべき現状課題を掲げたテーマ設定をしてください。

#### テーマ名「①□□□を実現するための、②△△△技術の導入／開発」

①部：目標とする機械装置名、商品名、導入技術の活用先 等

②部：中心となる要素技術、サポーター関連技術 等

<例>

①黒糖製造装置開発における、②熱および濃縮技術の確立

①太陽光発電向け可動式架台開発における、②自動制御技術の確立

①小ロット製品向け、②タンポ写印刷技術の導入検証

①小ロット食品（菓子等）製造用、②簡易金型技術の導入

（※1）国が定めた以下の「特定ものづくり基盤技術」22技術のことをサポーターインダストリーもしくはサポーター技術と称す。

鍛造	塗装	熱処理	動力伝達	部材の締結	組込みソフトウェア
鋳造	真空	位置決め	繊維加工	金属プレス加工	プラスチック成形加工
発酵	溶接	冷凍空調	切削加工	高機能化学合成	電子部品・デバイスの実装
金型	めっき	粉末冶金	溶射・蒸着		

(作成記入例)

【様式2】

## プロジェクト概要書

技術開発テーマ名	△△△を実現するための、□□□技術の開発
----------	----------------------

産	〇〇社 〇〇社（東京） (※主要組織から順に記述してください)	学 官	〇〇大学〇〇学部〇〇学科 〇〇県〇〇研究センター 〇〇総合研究所（大阪）
		ユーザ 企業	〇〇社
総事業費	〇〇,〇〇〇,〇〇〇円		
開発目的 (背景・目標)	<p>(記入例)</p> <p>背景・現状（〇〇は、〇〇のため、〇〇が期待されている。）</p> <p>課題（しかしながら、〇〇が課題となっている。／〇〇が求められている。）</p> <p>技術開発体制（このため、〇〇技術を有する〇〇大学／〇〇社と連携することにより、〇〇が可能となる）</p> <p>技術開発内容（〇〇を解明するとともに、〇〇する技術を確立する。）</p> <p>製品等（これにより、〇〇の特長を有する〇〇の技術が可能となり）</p> <p>効果（〇〇の実現が期待できる。）</p>		
技術開発の概要	<p>※技術開発プロジェクトの概要を分かり易く説明してください。</p> <p>(開発する機械装置のイメージ図や基本仕様、導入技術の必要性や優位性に関する図解や写真等)</p>		

※【様式2】は1枚以内でご記入ください。枠の大きさは適宜修正してください。

※ 総事業費は様式10から転記してください。

(作成記入例)

【様式3】

## 技術開発内容等説明書

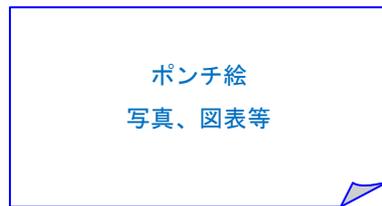
技術開発テーマ名

△△△を実現するための、□□□技術の開発

### 1. 技術開発の目標

※ 今回の技術開発で何をどこまで実現しようとするのか記述してください。最終的な事業成果として、何（形）ができるのか、どのような技術を導入するのか、特許権等出願の可能性、目標とする仕様（機械的な仕様から価格、導入時期）等を記述してください。

※ 枠の大きさは適宜修正してください。



<仕様>

寸法 ○○×○○×○○mm

処理能力 ○○t/日

販売価格 ○○○万円

...

### 2. 技術開発の課題

※ 目標を達成するにはどのような技術的な課題があるのか、具体的に記述してください。

### 3. 技術開発の内容

※ 全体的な取り組みについては、文章や図表を追加して記述してください。

※ 詳細な検討事項については、下表に課題解決の分析・分解を行い、具体的な作業内容を記述してください。また、各サブテーマに対して中心となって取り組む機関名と代表者名、および課題解決に取り組むだけの過去の実績や保有技術等について記述してください。

※ サブテーマは必要に応じて追加してください。枠の大きさは適宜修正してください。

※ 枠の大きさは適宜修正してください。

## (作成記入例)

(作業分解)

技術課題	課題解決方法	課題解決のための作業
サブテーマ① 〇〇機構による△△ 効果の検証	〇〇機構の開発	研究開発実施機関のC大学との共同で〇〇機構の仕様 (構想)の検討を行う。
		〇〇機構の設計作業と並行してDR(デザインレビュー) を行い、仕様通りに製作できるかの確認をする。
サブテーマ②		
サブテーマ③		

サブテーマ①	
主な実施機関	
開発代表者氏名	
実施内容の詳細及び保有技術等について記入下さい：	

※ 枠の大きさは適宜修正してください。

**(作成記入例)**

サブテーマ②	
主な実施機関	
開発代表者氏名	
実施内容の詳細及び保有技術等について記入下さい：	

サブテーマ③	
主な実施機関	
開発代表者氏名	
実施内容の詳細及び保有技術等について記入下さい：	

(作成記入例)

【様式4】

開発テーマに係るニーズの所在

技術開発テーマ名	△△△を実現するための、□□□技術の開発
ユーザー ニーズ	<p>※どのようなユーザーニーズに応えるのか記述してください。</p> <p>※誰がどのようなシーンで使えばどのようなメリットがあるのか例示してください。</p>
事業展開の 見通し	<p>※市場規模等について記述してください。</p> <p>開発ニーズの規模・想定企業の数／拡販方法</p> <p>開発テーマの達成によりどのような影響・効果があるのか（既存装置比較、作業効率アップ、生産性向上等）</p> <p>今後どのような分野への展開が期待できるか等</p>

※ 枠の大きさは適宜修正してください。



(作成記入例)

【様式6】

## 企業の概要

技術開発テーマ名	△△△を実現するための、□□□技術の開発
----------	----------------------

※【様式6】は中核企業及びすべての協力企業について1社ごとに作成してください。

※ 中核企業なのか協力企業なのかを明記してください。

企業名				(中核・協力) 企業
代表者	職・氏名			
所在地				
(技術開発拠点が上記以外の場合の主たる実施場所)				
HPアドレス				
技術開発代表者	職・氏名		電話	
	E-mail		FAX	
会計担当者	職・氏名		電話	
	E-mail		FAX	
資本金		前期売上額		
設立年月				
社員数	名 (内技術開発担当者 名)			

### 事業概要

主な事業分野及び保有技術・自社製品	販売及び施工実績 (台数、件数等)
詳細について記入ください	

※ 枠の大きさは適宜修正してください。

(作成記入例)

【様式7】

## 大学等研究機関の概要

技術開発テーマ名	△△△を実現するための、□□□技術の開発
----------	----------------------

\*【様式7】は研究実施機関ごとに作成してください。

機関名				
所在地				
研究代表者	職・氏名		電話	
	E-mail		FAX	
	HPアドレス			

### 主要な研究員の研究経歴等

役職・氏名 (年齢)

○年○月 ○○大学大学院修了 (○○博士)

○年○月 ○○大学助手

本技術開発に係る見込時間/年

### 研究員一覧表

研究員氏名	年齢	所属・役職・連絡先	学位	研究分担	研究専従率 (%)

※ 研究専従率欄には、各研究者の年間の全仕事時間を100%とした場合に対する当該研究の実施に必要とする時間の配分割合を整数で記入してください。

※ 枠の大きさは適宜修正してください。

(作成記入例)

【様式8】

## プロジェクトスケジュール

技術開発テーマ名	△△△を実現するための、□□□技術の開発
----------	----------------------

(注) 契約日より前に発注、購入、契約を実施したのものに関しては本事業委託費の対象外となります。

サブテーマ名	作業内容	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
サブテーマ① 〇〇機構による △△効果の検証	〇〇機構の検討	●→									
	〇〇機構の設計及びDR		●→								
サブテーマ②											
サブテーマ③											
サブテーマ④											

※ 技術開発のスタートは6月上旬を予定しています。

※ 上記の表は必要に応じて追加してください。枠の大きさは適宜修正してください。

(作成記入例)

【様式9】

### 技術開発経費積算書（共同体）

技術開発テーマ名	△△△を実現するための、□□□技術の開発
中核企業	株式会社 ○○社

(単位：円)

項目	積算金額	中核企業 ○○社	再委託費		
			協力企業 A社	協力企業 B社	研究実施機関 C大学
I. 技術開発用機械装置費等	1,000,000	1,000,000			
II. 労務費	5,400,000	2,000,000	1,500,000	1,500,000	400,000
III. 原材料等その他の経費	5,400,000	2,000,000	1,500,000	1,300,000	600,000
直接経費（I+II+III）	11,800,000	5,000,000	3,000,000	2,800,000	1,000,000
IV. 間接経費又は一般管理費	1,380,000	600,000	300,000	180,000	300,000
小計（I+II+III+IV）	13,180,000	5,600,000	3,300,000	2,980,000	1,300,000
V. 消費税及び地方消費税	1,054,400	448,000	264,000	238,400	104,000
合計（I+II+III+IV+V）	総事業費 14,234,400	6,048,000	3,564,000	3,218,400	1,404,000

※ 公募要領「6. 技術開発経費の積算内訳について」を参照の上、項目ごとに記入してください。

※ 中核企業および再委託先の消費税は、各々の小計に消費税率を乗じ1円未満を切捨ててください。

※ 必要に応じて枠は追加してください。枠の大きさは適宜修正してください。

(作成記入例)

【様式10】

### 技術開発経費積算内訳書（個別）

技術開発テーマ名	△△△を実現するための、□□□技術の開発
企業名/研究実施機関名	(中核企業) 株式会社 ○○社

※【様式10】は中核企業および全ての協力企業、研究実施機関ごとに作成してください。

(単位 : 円)

項目	見積金額	積算内訳
<b>I. 技術開発用機械装置等</b>	1,000,000	
①技術開発用機械装置借用費		
・○○装置 リース料	1,000,000	期間:2014年7月から2015年2月まで
<b>II. 労務費</b>	2,000,000	
①研究員費		
・設計および開発	960,000	A氏 @1,500円×160h/月×4ヶ月
・組立およびテスト	720,000	B氏 @1,000円×160h/月×4.5ヶ月
③補助員雇上費		
・テストデータ整理他	320,000	C氏 @1,000円×160h/月×2ヶ月
<b>III. 原材料等その他の経費</b>	2,000,000	
①原材料等		
・○○○○材	450,000	○○機構のフレーム部材
・○○○○材	450,000	○○機構の駆動部用部品
・○○○○加工	400,000	○○機構駆動部のシャフト加工他
・□□□□費	300,000	○○機構の電計回路部品
②旅費・交通費		
・△△技術導入会議	400,000	東京1泊2日×2名×2回
<b>直接経費 (I+II+III)</b>	5,000,000	
<b>IV. 間接経費又は一般管理費</b>	600,000	直接経費の▲▲%
<b>小計</b>	5,600,000	
<b>V. 消費税及び地方消費税</b>	448,000	
<b>合計</b>	6,048,000	

- ※ 公募要領「6. 技術開発経費の積算内訳について」を参照の上、項目ごとに記入してください。
- ※ 内容が判断できるように、見積金額または積算内訳は「一式」とせずに、1項目50万円未満になるように記入してください。
- ※ 提案書作成時点での見積書取得は不要です。
- ※ 必要に応じて枠は追加してください。枠の大きさは適宜修正してください。
- ※ 一般管理費率は下記計算式により算出し、上限値を10%とします。  
一般管理費率(%)=[(販売費及び一般管理費)-(販売費)]÷(売上原価)×100
- ※ 大学等研究実施機関の間接経費は各機関の規定に従うものとし、上限値を30%とします。

(作成記入例)

## <提出書類チェックシート>

※提出漏れがないかチェックを入れ、同封して下さい。

中核企業名	
-------	--

技術開発テーマ名	
----------	--

	チェック欄	提出書類	提出部数
申請書類	<input type="checkbox"/>	提案書一式（様式1から様式10）  【様式1】平成26年度 オキナワものづくりネットワーク構築事業 提案書 応募申請書（押印あり） 【様式2】プロジェクト概要書 【様式3】技術開発内容等説明書 【様式4】開発テーマに係るニーズ所在 【様式5】プロジェクト実施体制 【様式6】企業の概要（技術開発共同体参画企業の全て） 【様式7】大学等研究機関の概要 【様式8】プロジェクトスケジュール 【様式9】技術開発経費積算書 【様式10】技術開発経費積算内訳書 （技術開発共同体参画企業及び大学等研究機関の全て）	正本1部 副本15部（正本の複写）
	<input type="checkbox"/>	定 款 （技術開発共同体参画企業の全て）	コピー15部
	<input type="checkbox"/>	決算報告書 （技術開発共同体参画企業の全て、直近3期分） 法人税申告書の別表1 （技術開発共同体参画企業の全て、直近1期分）	コピー15部 コピー1部
	<input type="checkbox"/>	納税証明書 （技術開発共同体参画企業の全て） （直近1期分の法人事業税、法人県民税） （直近1期分の法人税、消費税の「様式その3-3」）	コピー1部
	<input type="checkbox"/>	会社案内等の参考資料 （技術開発共同体参画企業の全て） （会社案内、自社商品・技術開発紹介資料、新聞記事等）	コピー9部
事務書類	<input type="checkbox"/>	提出書類チェックシート	—

※提出書類に不備のある場合、審査対象とならないことがありますのでご注意ください。

※提出書類は審査、契約、管理、確定、精算といった一連の業務遂行の為にのみ利用し、提案者の秘密は保持します。

※提出書類の返却はいたしませんので、必ず、正本の控えを保管してください。

(作成記入例)

提案書類提出先 及び 問い合わせ先

〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町字千原1番地  
琉球大学産学官連携推進機構内 (株)沖縄TLO

担 当： 大城、美里、江洲

TEL : **098-895-1701** FAX:**098-895-1703**

E-mail: [mono1@okinawa-tlo.com](mailto:mono1@okinawa-tlo.com)